

## ベトナムにおいて小学校新校舎建設資金を寄付

各位

JX日鉱日石開発株式会社(社長:平井 茂雄、以下「JX開発」と)とJX日鉱日石エネルギー株式会社(社長:一色 誠一、以下「JXエネルギー」)は、ベトナム社会主義共和国バリア・ブンタウ省「グエン・チュン・ト小学校」の新校舎建設資金として、本年7月に地方政府に対し13万米ドル(約13百万円)を寄付いたしました。今般新校舎が竣工しましたので、お知らせいたします。

JXグループは、ベトナム各地の学校校舎や枯葉剤の影響で身体に障害を持つ子供のリハビリセンターを建設する為の資金を寄付するなど、同国において様々な社会貢献活動に取り組んでまいりました。

今回12月14日(土)に同校で開催された新校舎竣工式には、JX開発から取締役 常務執行役員 関野 誠が出席し、校舎竣工の祝辞を述べるとともに、学習用のノート等文具一式を贈呈しました。

また、本年は「日越友好年(日本ベトナム外交関係樹立40周年)」にあたり、年間を通して様々な記念事業が実施されており、今回の寄付も、本年1月に竣工したハイフォン市「グエン・ビン・キエム高校」の新校舎建設資金寄付と同様、「日越友好年」の公式事業として認定されております。

JX開発は、1992年にベトナム沖15-2鉱区の権益を取得して以来、オペレーターとしてランドン/フンドン油田にて石油・天然ガス開発事業を展開しており、同国を最重点事業エリアのひとつと位置づけております。

また、JXエネルギーは、1996年から同国における潤滑油事業を行っており、現在、ハイフォン市内に潤滑油製造工場を建設し、2013年度中の生産開始を目指しております。

JX開発およびJXエネルギーは、JXグループが経営理念に掲げる行動指針「社会との共生」をベトナムにおいても実践するべく、今後も積極的に社会貢献活動を実施してまいります。



新校舎竣工式の様子(左:祝辞を述べる関野常務 右:完成した新校舎と子供達)

以上

## ベトナムにおける主な建設資金寄付実績



上記の建設資金寄付以外に、ペトロベトナム大学への運営資金寄付のほか、病院への寄付、経済的に恵まれない学生に対する奨学金の授与等、各種寄付を実施。